

NYマーケットレポート (2021年1月28日)

2021年1月28日 (木)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	28,197.42	-437.79	2.74%
ハンセン指数	28,550.77	-746.76	4.85%
上海総合	3,505.18	-68.17	0.92%
韓国総合	3,069.05	-53.51	6.81%
豪ASX200	6,649.69	-130.87	0.95%
シンガポールST	2,920.30	-38.33	2.69%
インドSENSEX	46,874.36	-535.57	-1.84%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	104.25	104.46	104.06
EUR/JPY	126.35	126.66	125.99
GBP/JPY	143.13	143.27	142.20
AUD/JPY	80.11	80.24	79.21
EUR/USD	1.2119	1.2142	1.2081
BRL/JPY	19.049	19.257	18.966
RUB/JPY	1.364	1.369	1.357

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,526.15	-41.22	1.02%
仏CAC40	5,510.52	+50.90	-0.74%
独DAX	13,665.93	+45.47	-0.39%
スペインIBX35	7,932.50	-79.80	-1.75%
イタリアFTSE MIB	21,916.50	+253.77	-1.42%
トルコ・イスタンブール100	1,498.32	+31.32	1.46%
ロシアRTS	1,384.64	-8.38	-0.20%
南ア全株指数	63,206.72	+422.20	6.39%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1841.20	-7.70	-3.07%
NY 原油	52.34	-0.51	7.63%
CBOTコーン	534.50	+0.50	10.61%
CRB指数	174.294	-1.038	3.87%
ドル指数先物	90.536	-0.111	0.67%
VIX指数	30.21	-7.00	32.79%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	30,603.36	+300.19	-0.01%
S&P500	3,787.38	+36.61	0.83%
NASDAQ	13,337.16	+66.56	3.48%
南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	17,657.20	+232.77	1.28%
メキシコ・ボルサ指数	44,280.73	+18.72	0.49%
ブラジル・ボベスパ指数	118,883.25	+3000.95	-0.11%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	33205	30950
Ripple(XRP)【BSTP】	0.263	0.255
Ethereum【BSTP】	1350.30	1272.56
Bitcoin Cash	401.94	381.80

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	1.115%	1.080%
ニュージーランド10年債	1.111%	1.095%
日本国債利回り		
2年債	-0.123%	-0.118%
10年債	0.040%	0.049%
30年債	0.648%	0.657%

1/29 経済指標スケジュール

08:30 【日本】12月失業率・12月有効求人倍率
 08:30 【日本】1月消費者物価指数[東京都区部]
 08:50 【日本】日銀金融政策決定会合[1月20-21日分・主な意見]
 08:50 【日本】12月鉱工業生産
 09:30 【オーストラリア】4Q生産者物価指数
 14:00 【日本】12月住宅着工戸数・12月建設工事受注
 14:00 【日本】1月消費者態度指数
 15:00 【南アフリカ】12月マネーサプライM3
 15:30 【フランス】12月消費者支出
 15:30 【フランス】4Q GDP
 16:00 【ドイツ】4Q GDP
 16:00 【トルコ】12月貿易収支
 16:45 【フランス】12月生産者物価指数
 17:00 【スイス】1月KOF先行指数
 17:30 【香港】4Q GDP
 17:55 【ドイツ】1月失業率・1月失業者数
 17:00 【欧州】12月マネーサプライM3
 21:00 【南アフリカ】12月貿易収支・12月財政収支
 22:30 【米国】4Q雇用コスト指数
 22:30 【米国】12月個人所得・12月個人支出
 22:30 【米国】12月PCEデフレーター
 22:30 【カナダ】11月GDP
 22:30 【カナダ】12月鉱工業製品価格
 22:30 【カナダ】12月原料価格指数
 23:45 【米国】1月シカゴ購買部協会景気指数
 00:00 【米国】12月中古住宅販売仮契約
 00:00 【米国】1月ミシガン大学消費者信頼感指数

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.539%	-0.546%
英国10年債	0.287%	0.269%
フランス10年債	-0.310%	-0.310%
イタリア10年債	0.640%	0.660%
スペイン10年債	0.070%	0.070%
米国債利回り		
2年債	0.117%	0.119%
10年債	1.045%	1.016%
30年債	1.805%	1.774%

1/29 主要会議・講演・その他予定

・ダラス連銀総裁 講演
 米第4四半期決算～キャタピラー、シェブロンなど

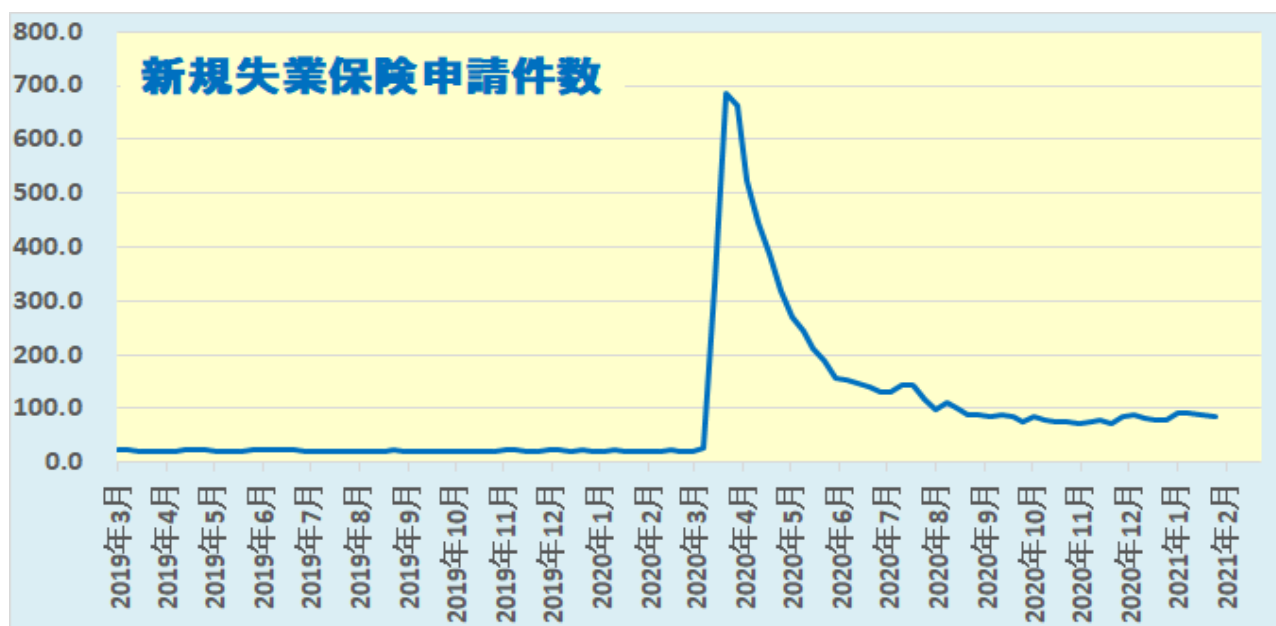
NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

主要な米経済指標の結果

新規失業保険申請件数 84.7 万件（予想 88.0 万件・前回 90.0 万件⇒91.4 万件）

失業保険継続受給者数 477.1 万人（予想 500.0 万人・前回 505.4 万人⇒497.4 万件）

米新規失業保険申請件数（1/23 までの週）は、前週比-6.7 万件となり、2 週連続で減少となった。新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、米国で店舗などの営業規制が厳格化されたことが雇用情勢に悪影響となっており、依然として申請件数は高水準が続いている。一方、失業保険継続受給者数（1/16 までの週）は、前週比-20.3 万人となり、2 週連続の減少となった。

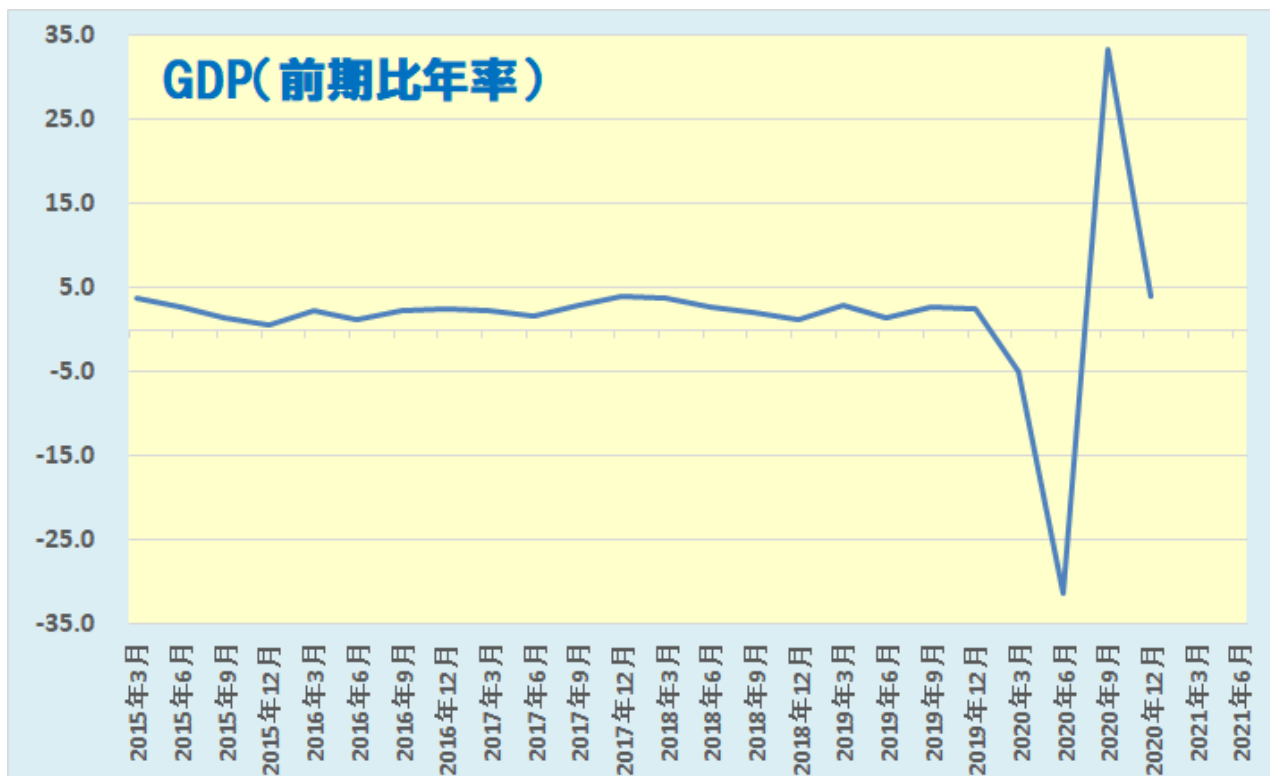


データを基に SBILM が作成

4Q GDP (前期比年率) 4.0% (予想 4.2%・前回 33.4%)

4Q 個人消費 (前期比) 2.5% (予想 3.2%・前回 41.0%)

10-12月期の米 GDP 速報値は、前期から伸び幅が大幅に鈍化した。前期に過去最大の成長率を記録していた反動もあり、GDP の約 7 割を占める個人消費の大幅減速が影響した。サービスは 4.0% (前期 38.0%)、設備投資は 13.8% (22.9%)、住宅投資は 33.5% (63.0%) と軒並み低下した。

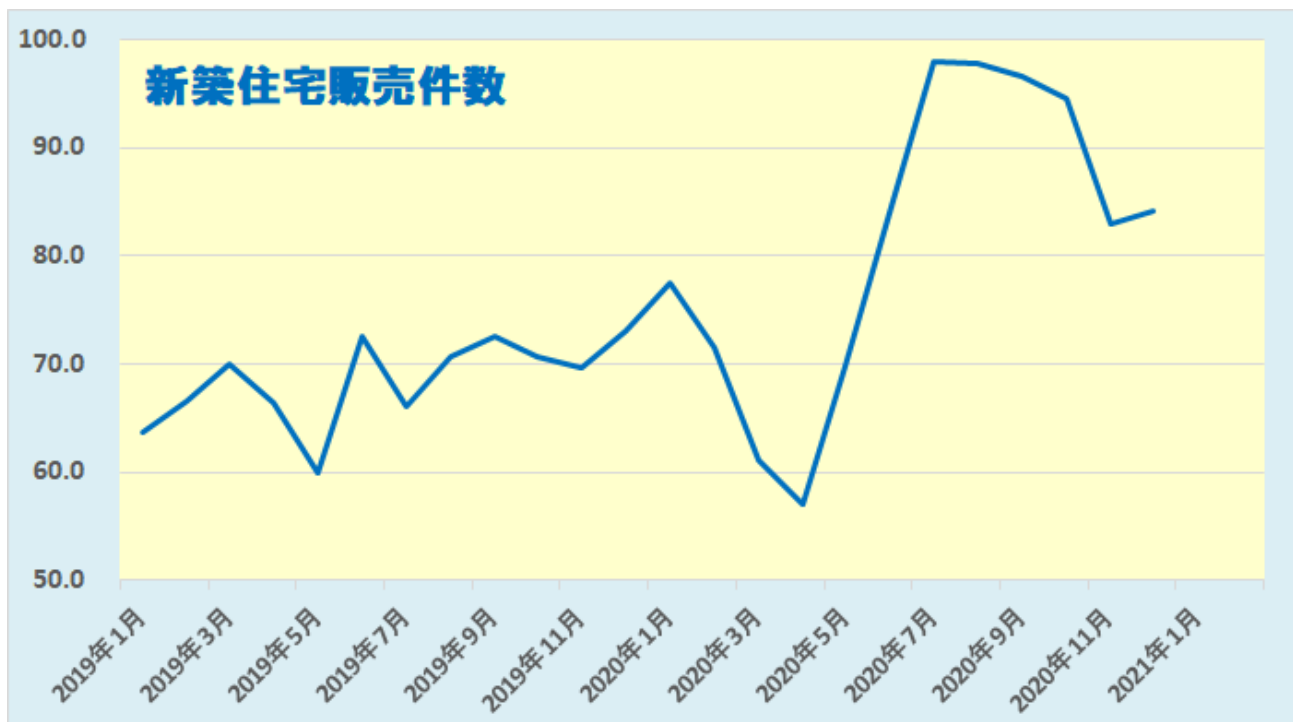


データを基に SBILM が作成

12月新築住宅販売件数 84.2万件（予想 86.0万件・前回 84.1万件⇒82.9万件）

12月新築住宅販売件数（前月比） 1.6%（予想 2.3%・前回 -11.0%⇒-12.6%）

12月の米新築住宅販売件数は、市場予想を大幅に下回ったが、前月が下方修正されたこともあり、5ヵ月ぶりに前月を上回った。前年比では+15.2%だった。市場の住宅在庫は30.2万件となり、在庫率は4.3ヵ月で適正とされる6ヵ月を引き続き下回った。地域別では、中西部が+30.6%の9.4万件（前月7.2万件）、西部が+8.8%の23.4万件（21.5万件）、最大市場の南部は-5.1%の48.3万件（50.9万件）、北東部は-6.1%の3.1万件（3.3万件）となった。



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は軒並反発

米株式市場では、前日の大幅下落に対する反動もあり、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、一時前日比 648 ドル高まで上昇するなど軒並み大幅上昇となった。その後、複数のインターネット証券が、個人投資家の買いが殺到していたゲーム販売店のゲームストップなどの取引を制限したこともあり、主要株価指数は終盤に上げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は 300.19 ドル高 (+0.99%) で終了し、6 営業日ぶりに反発となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは 66.56 ポイント高 (+0.50%) で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	2.05%	1	ウォルト・ディズニー	5.43%
2	消費者サービス	1.50%	2	アメリカンエキスプレス	4.28%
3	金融	1.48%	3	ナイキ	2.82%
4	資本財	0.94%	4	キャタピラー	2.05%
5	石油・ガス	0.93%	5	JPモルガン・チェース	1.76%

データを基に SBILM が作成

ドルは主要通貨に対して上値の重い動き

NY市場では、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。米主要株価指数が前日の大幅下落の反動で大幅反発となったことから、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、ドルや円が売られる動きとなった。一方、米10年債利回りが1.004%から1.070%まで上昇したこともあり、ドルは対円で堅調な動きとなり、一時104.46まで上昇し、昨年12/10以来の高値となった。しかし、その後ドルは対円で上昇が一服したことや、欧州通貨や資源国に対して下げ幅を拡大したことから、対円でも上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。